

ふるさと港北ふれあいまつり・全市統一行動キャンペーン

平成26年10月18日(土)、「2014ふるさと港北ふれあいまつり」が横浜F・マリノス公式チアリーディングチーム「トリコロールマーメイズ」による華やかなオープニングで、新横浜駅前公園野球場にて開催されました。会場では区内の自治会町内会・行政・各種団体が80を超えるブースを出店。いずれも自慢の料理・お菓子・飲み物を用意し賑わいを見せていました。



区長と一緒に青指ブース前で

青少年指導員はわくわく大抽選会を担当し、ブースでは「チョコバナナ」を販売!「チョコバナナ」は出足はゆっくりとした販売ペースでしたが気が付けば早々に完売し、急遽マシュマロを手配し、「チョコマシュマロ」を売り出したほどの人気でした。

ステージでは地域の皆さんの踊りや太鼓が披露されましたが、子どものお目当ては何と言っても「アンパンマンショー」。午前・午後の部ともステージ横まで人がいっぱいになる大盛況でした。休憩時間を利用してパンフレットを片手に会場を巡ったところ、地元商店街の手作り男爵コロッケやカリ揚げチーズカレーパンは売り切れでしたが、大倉山の梅酒は手にすることができました。

併せて、地域の皆様に青少年の健全育成への意識を高めていただくことと青少年指導員の活動をPRするために、全市統一行動キャンペーン活動を実施しました。子犬の写真入りの絆創膏と一緒にキャンペーンのチラシを配布し、来場いただいた多くの方に受け取っていただけました。

これからもこの催しが地域のきずな・力を感じることが出来、活力の一助になり続けることが出来ればいいなと思いました。(Y・F)

成人の日を祝うつどい

平成27年1月12日(祝)、横浜アリーナにて「成人の日」を祝うつどい」が開催されました。式典は、市内の新成人有志により結成された実行委員会が運営しています。私たち青少年指導員は、席の誘導など、式典が無事に運営できるよう、毎年お手伝いをしています。輝くような晴れ姿の新成人たちに心をこめて、「おめでとうございます」と声をかけながら席への誘導などを行いました。



当日参加の青少年指導員

式典前に場内で上映されていた、新成人たちの未来の自分へのメッセージや夢を盛り込んだビデオの制作、当日のチケットのデザイン作成も、実行委員の方々が行ったそうです。新成人となった意気込みが感じられ、とても頼もしく思いました。(E・K)

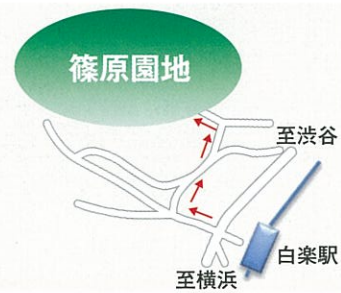
遊び場紹介 VOL.1

県立篠原園地

(港北区篠原台町・東急東横線白楽駅より徒歩10分)

県立篠原園地は、旧県知事公舎跡地前に広がる神奈川県立の1.7haの広場です。東急東横線白楽駅西口から徒歩10分の立地にもかかわらず、緑豊かな場所です。篠原園地の中には、隣接する横浜市立白幡池公園も含め、遊歩道が整備されており、子ども連れの散歩にはちょうどよい環境です。春にはサクラ、夏にはアジサイと、四季折々の自然にふれ合うことができます。園内の木々、草花には名前や種類が記載されたカードがついているので、一つ一つ確認しながら散策すると思いがけない発見があるかも。

また年4回自然観察会も開催されており、草花だけでなく、セミの羽化の観察なども行われたりもします。最近は、スマホや携帯ゲームで遊ぶ子どもたちが増えている中、このような自然に触れる場所は貴重な存在かと思えます。ぜひ子どもたちには、実際に自然に触れ、四季を肌で感じることを経験してほしいと思います。(H・M)



編集後記

港北区青少年指導員協議会では、自然体験事業として「足柄ふれあいの村」をはじめとした施設で、子どもたちが本物の自然とふれあえる環境を提供してきました。今回で6回の開催となりますが残念ながら参加できなかった子どもたちも多くいたのではないかと思います。

そこで、港北青指35号から、青指がお勧めする子どもたちの遊び場を紹介する企画を始めました。港北区内にも子どもたちが自然にふれあうことができる場所はたくさん残っているはずです。企画が続くかどうかは乞うご期待!これを機に港北区のよさを再発見できればいいですね。(H・M)



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第 35 号
平成 27 年 6 月 発行
発行者 港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局 港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2238
FAX 045-540-2245

港北青指 検索

平成26年度横浜市青少年指導員大会

平成27年3月21日(土・祝)、神奈川県立青少年センターホールにて平成26年度横浜市青少年指導員大会が開催されました。

開会宣言の後、任期中に亡くなられた同士に対して、黙祷を捧げました。横浜市歌斉唱、会長・副市長の挨拶の後に、永年勤続者顕彰で10年以上の永きにわたり活動された100人以上に、感謝状が贈られました。最長の方は、神奈川区在住で41年活動されていました。来賓紹介、休憩の後、講師にNPO法人ジェントルハートプロジェクト理事小森美登里氏を招き、「いじめって何ですか?~いじめに対する大人の認識を考える~」のテーマでの記念講演がありました。小森氏は過去、高校入学間もない一人娘をいじめによる自死で失ったことをきっかけに、いじめのない社会、暖かい教室と学校を目指し、NPO法人を立ち上げ 講演・展示会・勉強会の開催等の活動を始められました。



「常に問題とされている「いじめ」では、被害者側ばかりクローズアップされがちであるが加害者側の事ももっとじっくり考えるべきである。大人たちはいじめによって自死した子どもたちに対してたかがいじめくらいでなどと軽く見る人もいる様だが、いじめ=虐待の考え方も持つべきである。教育者、保護者、我々指導員たちが、もっと話し合いの場を設けて、いじめがなく、子どもたちが安心して過ごせる地域土壌をつくっていかなくてはいけない」という内容が印象的でした。(Y・T)



講師：小森美登里氏

港北区青少年指導員研修会

平成27年2月27日(金)、港北公会堂にて「港北区青少年指導員研修会」が開催されました。当日は寒い中、我々青少年指導員だけでなく、青少年の健全育成に取り組む関連団体の皆様にも多数ご参加いただきました。主催者挨拶として港北区青少年指導員協議会の石井会長より、昨今の子どもをとりまく環境が話され、横山港北区長より「地域で見守り、子どもの変化を見逃さないことが大切」とのお話しをいただきました。

今回の研修会の目的は、子ども・若者たちが様々な困難に遭遇しても「自らの夢」や「目標」を諦めることなく、将来に前向きに積極的に生きていくためには、地域や大人が子どもを見守ることが大きな意味を持つ、ということを改めて考え今後の青少年の健全育成の一助とすることです。

「大人が子どもを見守る意味」とのテーマで講演いただいたのは、一般財団法人児童健全育成推進財団 理事長の鈴木一光氏です。鈴木氏からは「子どもは希望であり、社会が良くなるには、子どもを成長させていくことが必要。そのためには、子どもにとって好きな事といえば遊びであり、遊びには色々な力がある。子どもは人から強制されずに開拓・工夫して遊び、好きな事をしていると苦しみに感じない。親として大切な事は、自由にいろいろな事をさせて好きなことを見つけてあげる事。それを確認して褒めてあげることが、集中力・能力を高める、一番の方法である」とのお話しをいただきました。

最後に「一つ欠点を持ち、人前で謙虚になる! 自律ではなく自立させる! 大人が子どもの見本となる!」との言葉が私の心に残りました。子どもは親の背中を見て育ちます。我々大人もしっかりと学ばなければいけないなと思いました。(S・T)

神奈川県青少年指導員大会

平成26年11月9日(日)、小田原市生涯学習センター「けやき」にて「第47回神奈川県青少年指導員大会」が開催されました。開会、来賓の方々のあいさつに続き、永年青少年指導員活動に尽力された60名の皆さんへ感謝状の贈呈がありました。港北区からも20年に亘り青少年指導員活動に貢献された新吉田地区の横溝むつみさんが表彰されました。



カレー作り



大鍋での炊飯カレー作りに悪戦苦闘していましたが、キャンプ経験のある子どもが中心になり無事出来ました。おこげができて、驚く子や喜び子がいましたが、カレーは美味しく夢中で食べました。



第6回 自然体験教室 神奈川県立 足柄ふれあいの村



平成26年11月8日(土) 港北区青少年指導員協議会は、区内の子どもたち139名と共に「県立足柄ふれあいの村」で自然体験教室を実施しました。出発少し前から雨が降り出し、天候が心配されましたが、地区ごとに4台の大型バスに乗り多くの親に見送られ出発しました。バスの中では、各地区指導員によるクイズ等のレクリエーションにより、楽しい時間を過ごしなが、無事足柄ふれあいの村に定刻通りに着くことが出来ました。ふれあいの村に着いた頃には、お天気も回復していました。



ようこそ、足柄ふれあいの村へ☆ 受付はこちらです↑



写真オリエンテーリング

午後のオリエンテーリングは、写真をヒントに森の中を回り文字を探し文章を作るという簡単なようで難しいゲームでした。アップダウンの激しい道を何度も登ったり降りたりしながら文字を探し、時間内に全員がクリア出来て良かったです。



第6回 自然体験教室のアンケート結果 アンケート回収数：131人

Q1 今回の自然体験教室は、満足でしたか？	とても満足： 76人 (58.0%)
	満足： 46人 (35.1%)
	不満足： 9人 (6.9%)
Q2 場所が「足柄ふれあいの村」でよかったですか？	とてもよかった： 69人 (52.7%)
	よかった： 52人 (39.7%)
	よくなかった： 10人 (7.6%)
Q3 カレー作りは、よかったですか？	とてもよかった： 110人 (84.0%)
	よかった： 16人 (12.2%)
	よくなかった： 5人 (3.8%)

それぞれ、どれか一つを回答

【主な意見】

- 写真を探したり、山を探検したり、カレーを作ったりして楽しかった。
- 山もあるし、カレーもうまく作れてすごく楽しかった。心にもすごく残る自然体験教室でした。また行きたいです。
- 写真オリエンテーリングは探検みたいで楽しかった。
- カレー作りでみんなで協力してできたのがよかった。
- オリエンテーリングでは自然を目にしながら楽しく協力できたし、カレー作りでは最初は全然料理もできないし何もできないと思ったけど、たくさん手伝ったのでよかった。私は2回目の自然体験教室だったけど、前回と場所が違い、内容もやることも違ったので、すごく楽しめたです。カレー作りの時間も長くなってたので、作りやすかったです。
- カレーを食べる場所が木に囲まれてよかった。
- カレー作りやオリエンテーリング以外のこともやってみてよかった。
- 知らない子とお話できたり、楽しくできたので、よかったです。
- 火をおこすのが楽しかった。みんなで協力できたのがよかった。
- 坂や階段が多くて足が疲れた。
- 新しい友達もできたし、貴重な体験もできて楽しかった。
- カレーが美味しくできてよかったです。バツとか虫もいたので面白かったです。
- カレーが去年より美味しくできた。
- もうちょっと遊びたかった。
- いろんな友達やカレー作りとかみんなで遊んだりしてとても楽しかったです。虫もいっぱいいて楽しかったです。またこのイベントに参加したいです。
- カレーを作るのは初めてで緊張しましたが、でもとても美味しくできたのでまた作りたいです。
- 行きのバスのレクが楽しかった。
- もっと自由時間がほしかった。
- カレーのごはんが固かったので、次はもう少し水を足して、ちょうどいいかたさにしたい。
- みんなで作ったカレーはとても美味しくかったです。
- 写真オリエンテーリングも協力して2番にゴールに着くことができてよかったです。
- 美味しく楽しくできて、さずなを深めることができた。
- 火をおこすのが大変だった。
- 写真オリエンテーリングが簡単であまり面白くなかった。